

Ascentech

www.ascentech.co.jp

アセンテック株式会社
2019年1月期
第2四半期
決算説明会資料

東証マザーズ 証券コード3565

Copyright Ascentech K.K. All right reserved.

ascentech

アセンテックの主要事業である
「仮想デスクトップ」は、
日本政府が主導して進めている
「働き方改革」を
実現するキーテクノロジーです。

仮想デスクトップとは？

通常のPC環境

データは
PC本体に保存



紛失や盗難があった場合、**重要データが漏洩**し会社に大きな損害が発生。
社員のUSBメモリによるデータ流出のセキュリティリスクもあります。

仮想デスクトップ環境

データはサーバ側に保存



ネットワーク



CITRIX®

端末にデータは無し

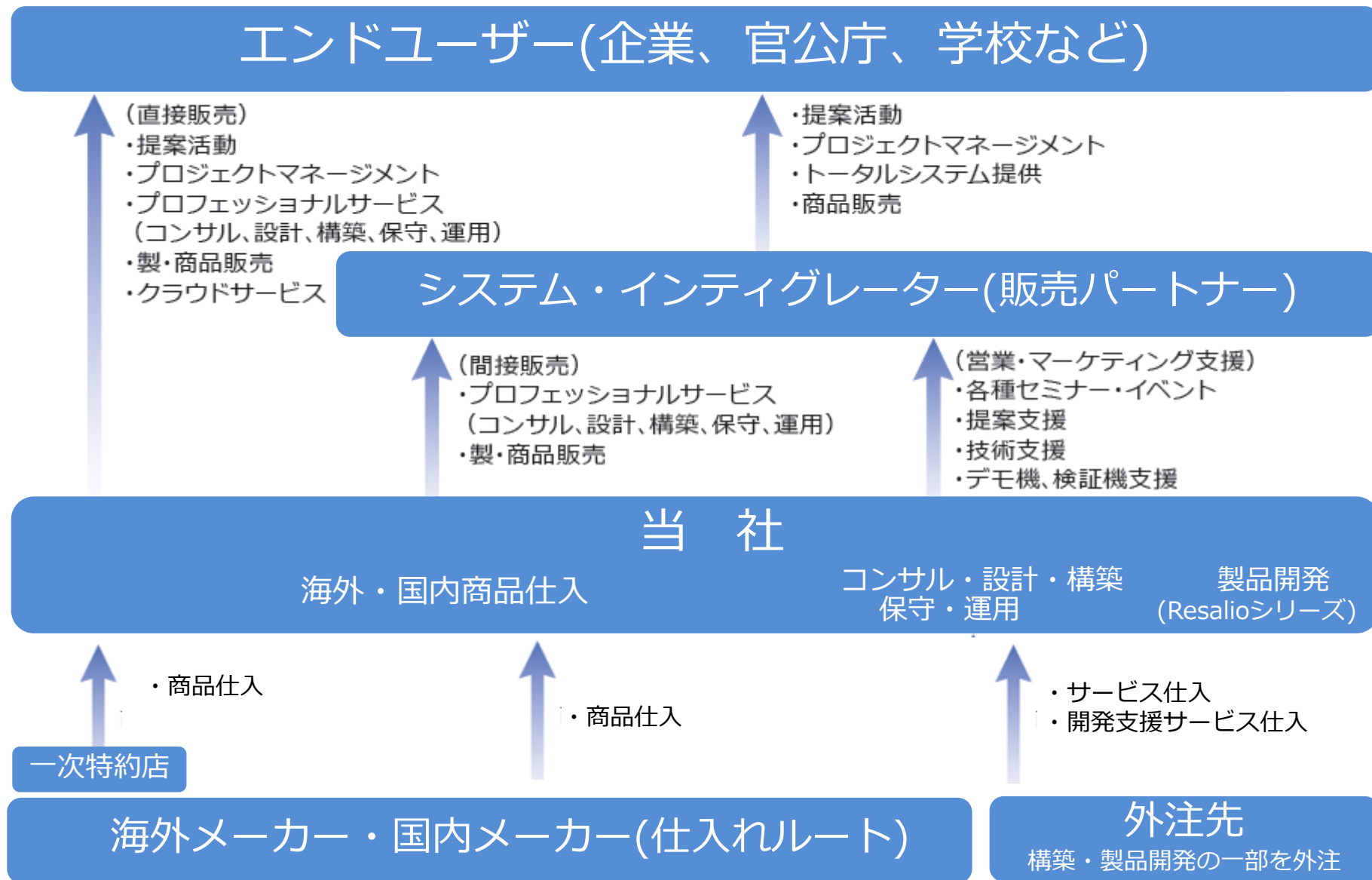


紛失や盗難があっても、データ漏洩にはなりません。
USBメモリ等の利用も制限することができます。

仮想デスクトップソリューションのメリット

- ✓ 高いセキュリティ性で安心
- ✓ 多種多様な端末からアクセス可能
- ✓ 災害時もセキュアに業務継続
- ✓ サーバに集約、運用管理も容易に
- ✓ 電力消費も大幅削減
- ✓ 在宅勤務もセキュアに実現

アセンテックビジネスモデル（事業系統図）



■ 1

2019年1月期 第2四半期決算報告

■ 2

2019年1月期 業績の見通し

■ 3

マーケティングハイライト

■ 4

更なる成長に向けた事業戦略の進捗

■ 増収増益

	2019年1月期 第2四半期累計期間	前年同期比増減率
売上高	3,192百万円	45.5%増
経常利益	250百万円	22.0%増

■ 増収増益の主たる要因

- ✓ **テレワーク導入案件**の増加や、企業のサイバーセキュリティ対策需要の増加に伴い、**仮想デスクトップビジネス**の事業領域が堅調に推移。
- ✓ **先進のハイパーコンバインド製品案件**や、**複数の国内大手クラウド事業者のITインフラ**を、**継続的に受注したこと**により、**仮想インフラ及びストレージ**の事業領域も好調。
- ✓ システムエンジニア部門の体制強化により、VDI関連の**プロフェッショナルサービス**が好調。

■ 前年同期比 売上45.5%増収、純利益22.5%増益

2018年1月期
第2四半期累計実績

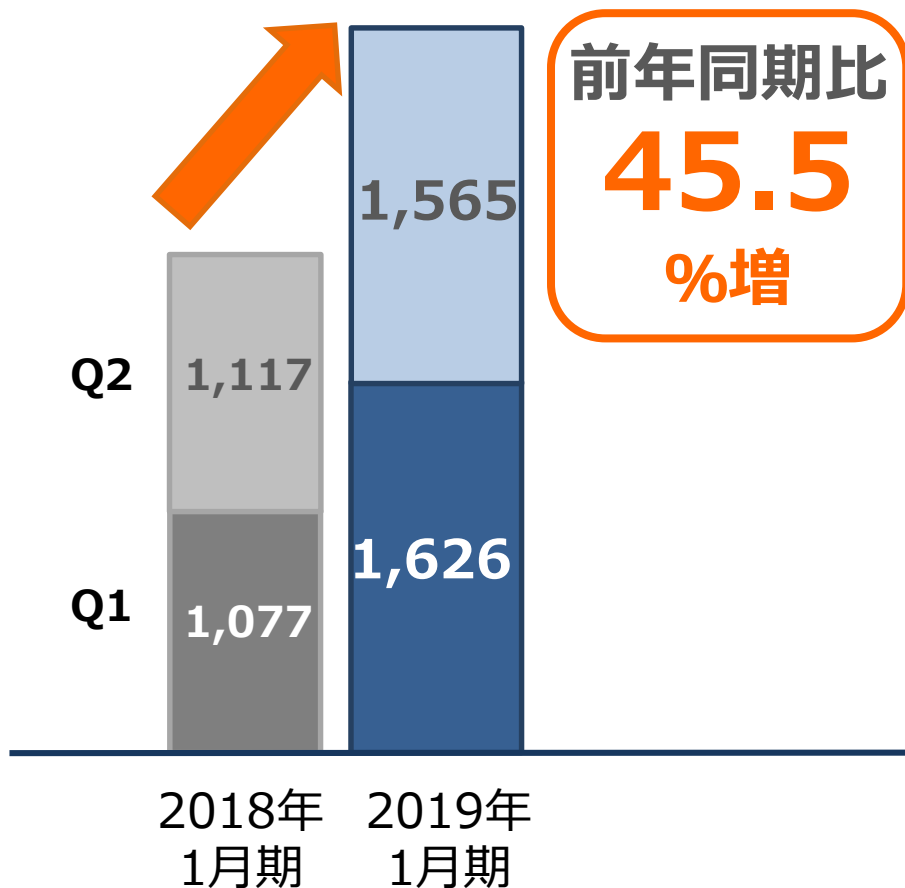
2019年1月期第2四半期累計実績

2018年1月期
前期通期実績

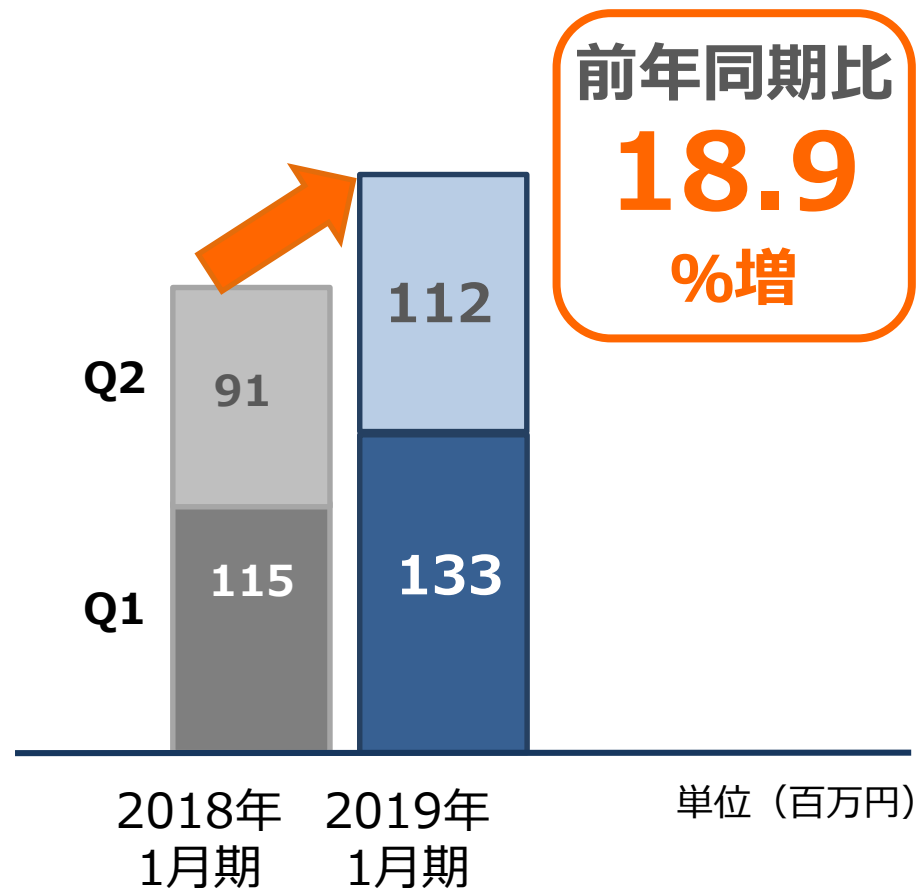
(単位：百万円)	金額	%	金額	%	増減額	増減%	金額	%
売上高	2,194	100.0	3,192	100.0	997	45.5%	4,326	100.0
売上原価	1,781	81.2	2,693	84.4	912	51.2%	3,627	83.9
売上総利益	413	18.8	499	15.6	85	20.7%	698	16.1
販売費及び 一般管理費	206	9.4	253	7.9	46	22.6%	444	10.3
営業利益	206	9.4	245	7.7	39	18.9%	253	5.9
経常利益	204	9.3	250	7.8	45	22.0%	268	6.2
四半期純利益	141	6.4	172	5.4	31	22.5%	188	4.3

■ 複数の国内大手クラウド事業者のインフラを継続的に受注したことにより、45.5%の増収

売上高

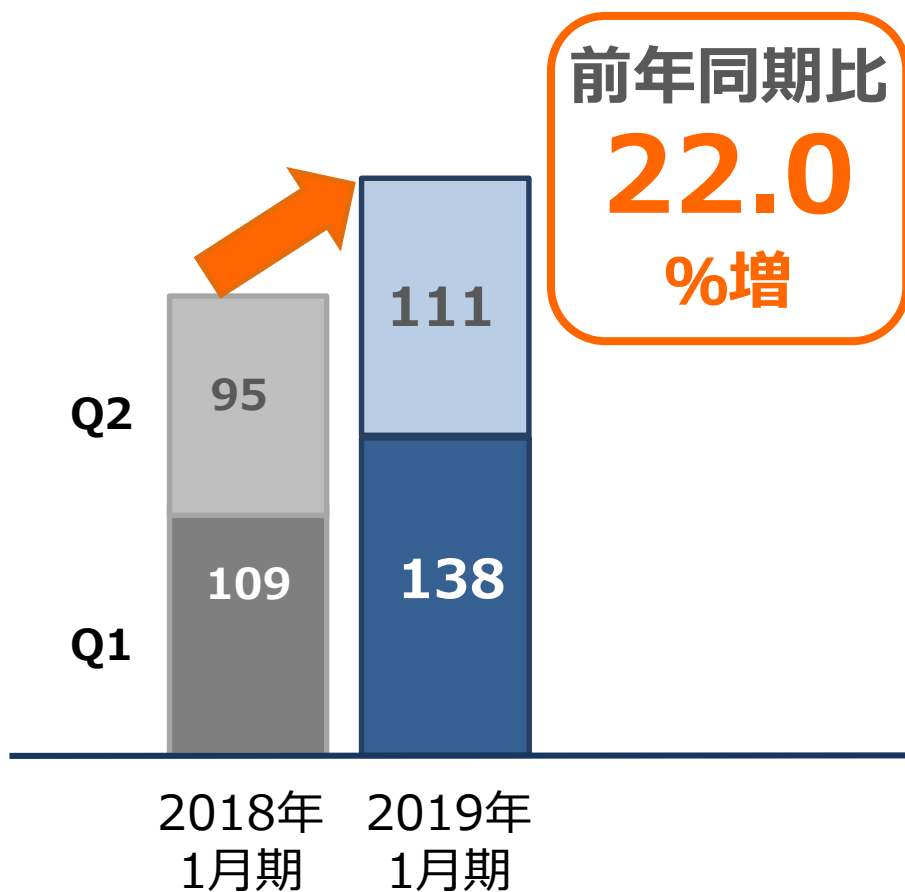


営業利益

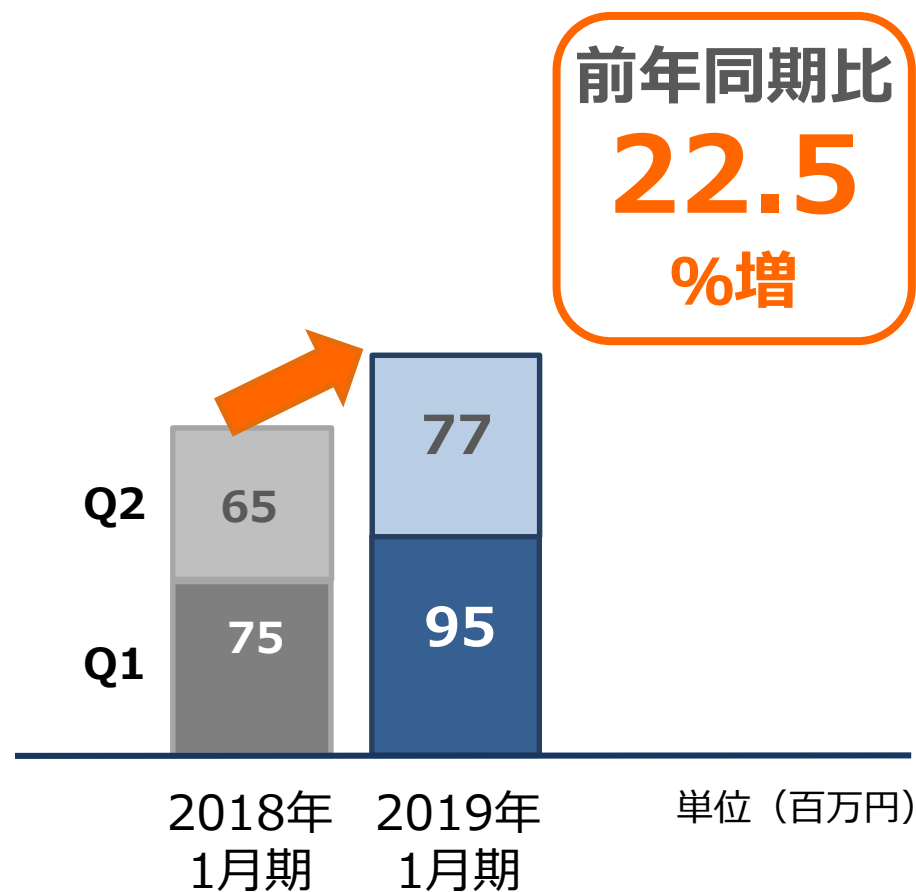


SE部門の強化による人件費増や、前年下期の本社移転による家賃増を吸収し、当期純利益22.5%増

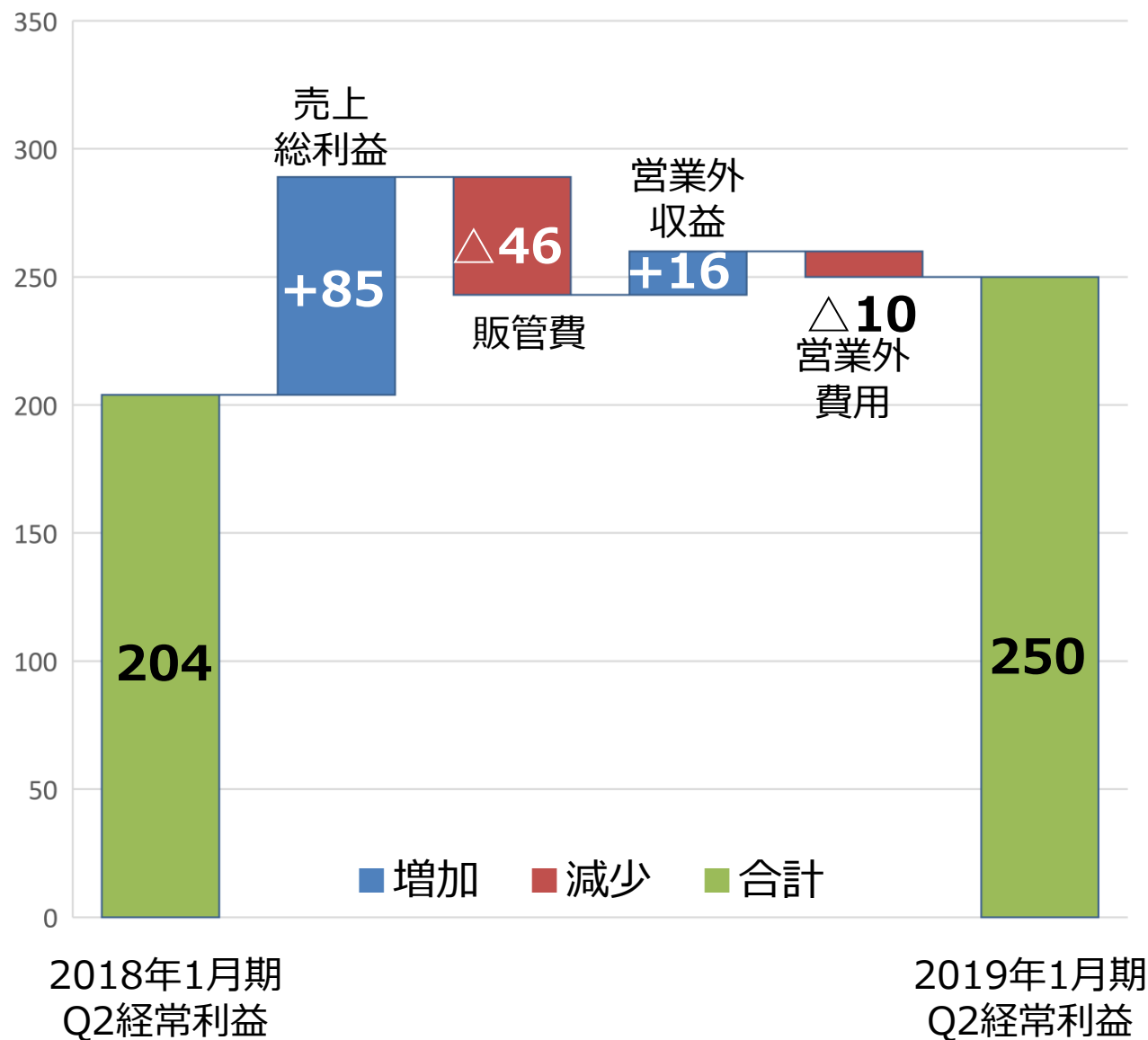
経常利益



当期純利益



経常利益の変動要因（前年同期比）



■ 主要要因 (単位：百万円)

↑ 売上総利益の増加 (+85)

↓ 販売管理費の増加 (△46)
(固定費) △36

- ・ 人件費
- ・ 地代家賃
- ・ 支払手数料 他 (一時費用) △10
- ・ 広告宣伝費
- ・ 福利厚生費
- ・ 研修費 他

↑ 営業外収益の増加 (+16)

- ・ 保険解約益 他

↓ 営業外費用の増加 (△10)

- ・ 為替差損
- ・ 株式公開費用
- ・ 株式交付費用 他

■ 1

2019年1月期 第2四半期決算報告

■ 2

2019年1月期 業績の見通し

■ 3

マーケティングハイライト

■ 4

更なる成長に向けた事業戦略の進捗

2019年1月期 通期予算の概要（2018年3月13日発表）

経常利益は15.4%、当期純利益は14.3%の成長を予想

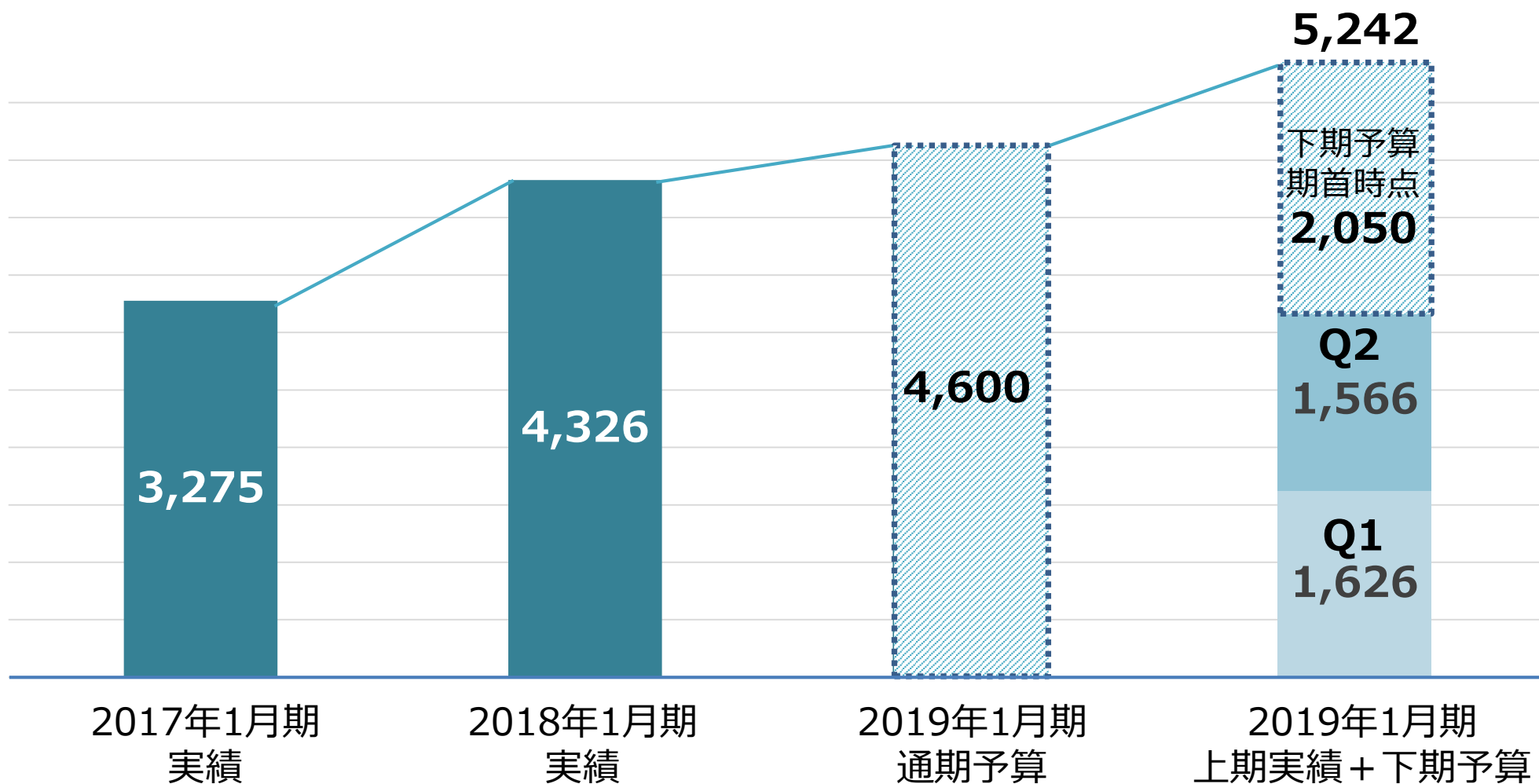
(単位：百万円)	2019年1月期 通期予算		前期実績比 増加率	2019年1月期 上期		2019年1月期 下期	
	金額	%	%	金額	%	金額	%
売上高	4,600	100.0	6.3	2,550	100.0	2,050	100.0
売上原価	3,850	83.6	6.1	2,147	84.2	1,703	83.1
売上総利益	750	16.3	7.3	403	15.8	347	16.9
販売費及び 一般管理費	445	9.6	0.1	222	8.7	223	10.9
営業利益	305	6.6	20.1	181	7.1	124	6.0
経常利益	310	6.7	15.4	182	7.1	128	6.2
当期純利益	215	4.6	14.3	126	4.9	89	4.3

通期予算に対して利益ベースで**80%**の進捗率

	2019年1月期 通期見通し		2019年1月期第2四半期累計実績		2019年1月期 通期見通し	
(単位：百万円)	金額	%	金額	%	進捗率	下期予算
売上高	4,600	100.0	3,192	100.0	69.4%	2,050
売上原価	3,850	83.6	2,693	84.4	70.0%	1,703
売上総利益	750	16.3	499	15.6	66.5%	347
販売費及び 一般管理費	445	9.6	253	7.9	57.0%	223
営業利益	305	6.6	245	7.7	80.4%	124
経常利益	310	6.7	250	7.8	80.7%	128
四半期純利益	215	4.6	172	5.4	80.4%	89

2019年1月期 上期実績及び下期予算

単位 (百万円)



■ 1

2019年1月期 第2四半期決算報告

■ 2

2019年1月期 業績の見通し

■ 3

マーケティングハイライト

■ 4

更なる成長に向けた事業戦略の進捗

セコムトラストシステムズ株式会社様 リモートPCアレイを大規模導入



セコムグループの情報・ネットワークシステムを担うセコムトラストシステムズ株式会社様が、仮想デスクトップ基盤として「リモートPCアレイ」を採用。セコムグループへ7,700台（385シャーシ）展開されました。

導入効果：

旧環境からリモートPCアレイに移行し、パフォーマンスが大幅に改善。ユーザーの満足度が向上。
また、ハードウェア障害も18ヶ月間の月間故障率が0.02%以下と非常に少なく、運用面の負荷が大幅に低減。

NTTアドバンステクノロジー株式会社様 Atrustシンククライアントを大規模導入



未来を拓くチカラと技術。



NTTグループの技術的中核企業であるNTTアドバンステクノロジー株式会社様は、情報セキュリティや働き方改革の一環として、デスクトップ型とノート型のAtrustシンククライアントを大規模導入いたしました。

導入効果：

セキュリティを強化したデスクトップ環境を、いつでも誰でも使える利点を活かし、サテライトオフィス（フリーアドレス化）を構築中。様々なコラボレーションツールを使用することで働き方改革を推進しています。

4社共同 全国キャラバン 6拠点で開催 働き方改革セミナーを通し、多くのリードを獲得



NVIDIA®



Hewlett Packard
Enterprise



6月 8日 : 盛岡会場 20名

花田設備様 協賛

6月15日 : 福岡会場 30名

ピー・ビーシステムズ様 協賛

6月22日 : 新潟会場 20名

BSNアイネット様 協賛

6月29日 : 大阪会場 30名

パナソニック インフォメーションシステムズ様 協賛

7月 6日 : 東京会場 30名

パナソニック インフォメーションシステムズ様 協賛

7月13日 : 幕張会場 30名

ファソテック様 協賛

■ 1

2019年1月期 第2四半期決算報告

■ 2

2019年1月期 業績の見通し

■ 3

マーケティングハイライト

■ 4

更なる成長に向けた事業戦略の進捗

自社製品の開発と展開

1. Resalio Lynx

2. リモートPCアレイ

■ オリジナル製品シンククライアント「Resalio Lynx」

**働き方改革を背景にテレワーク需要に対応！
Resalio Lynx (レサリオ リンクス) の採用が進む！**

秘匿領域を持つ
真のセキュアUSBシンククライアント

Resalio Lynx
ADVANCED COMPACT & SECURE ThinClient SOLUTION



- ◆ USBシンククライアント
「Resalio Lynx 300、500」
新バージョン4.0を発表 (9月13日付)
- ◆ Web会議システムSkype for Business
にも対応
- ◆ USBなしで起動、セキュアにテレワーク
専用端末としての活用が可能。
- ◆ 年額3,000円 (保守込み、税別) という
低料金で提供。

ソフトウェア・ディファインド・シンククライアント

Resalio Lynx 700 レサリオ リンクス 700
SOFTWARE DEFINED THINCLIENT RESALIO LYNX 700

「リモートPCアレイ」

なぜ「リモートPCアレイ」の採用が進むのか？

- ◆ Windows7サポート切れ(2020/1)対応による、Windows10への移行が加速！
- ◆ テレワーク環境を容易に実現！
- ◆ RPA (Robotics Process Automation) 専用のプラットフォームへ！



“働き方改革アプライアンス” RPAonRPA

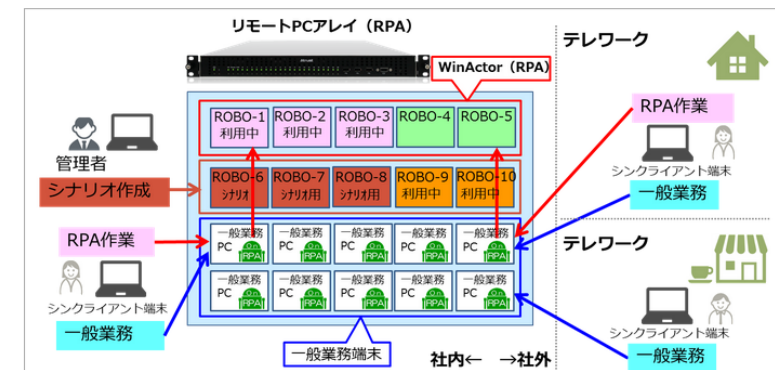
RPA on RPA

RPA環境とテレワーク環境を一つのシャーシに収納

リモートPCアレイ (RPA) 上の WinActorに、シンクライアント (またはPC) からOnRPA™を利用してリモート接続を行い、実行ロボを利用します。また、リモートPCアレイは一般のVDIに比べて非常に短時間かつ安価にリモートワーク環境が構築できるサーバです。これにより、働き方改革の代表的なITソリューションといえるRPA環境とテレワーク環境を一つのシャーシに収納して管理することが可能となります。また、シンクライアント端末の利用により、さらにセキュアな環境で自宅などのリモートからRPAロボの実行操作することができます。

リモートPCアレイ (RPA) の詳細はこちらから

ascentech



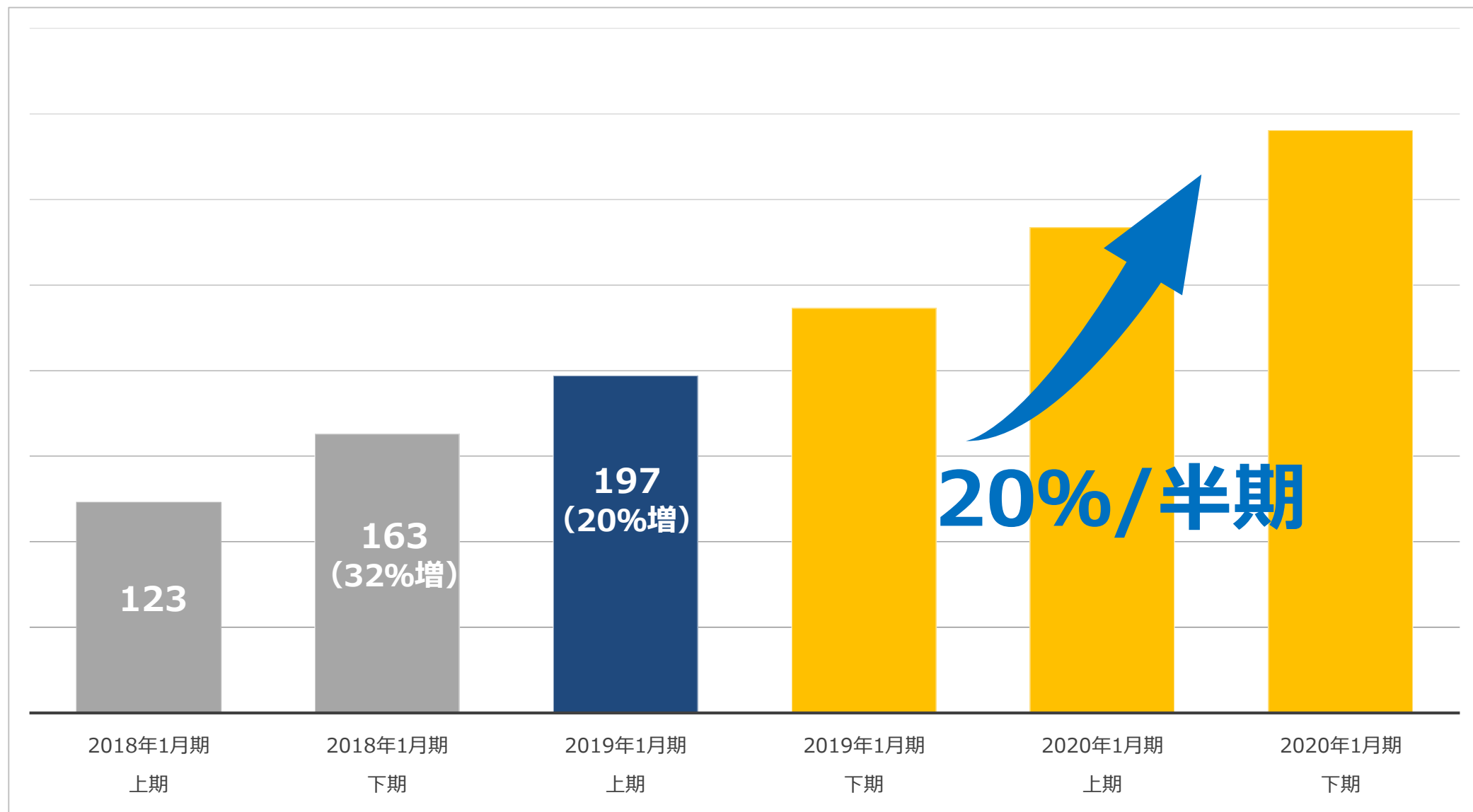
株式会社アクシオ様ホームページより抜粋

継続収入ビジネスの拡充

1. クラウドサービス
2. プロフェッショナルサービス
(1年以上継続のサービス)
3. 製品保守サービス

継続収入ビジネスの拡充 (Update)

■ 高利益率の継続収入ビジネスが拡大、年成長率45%を目標



Resalio BaaS (レサリオバース*)

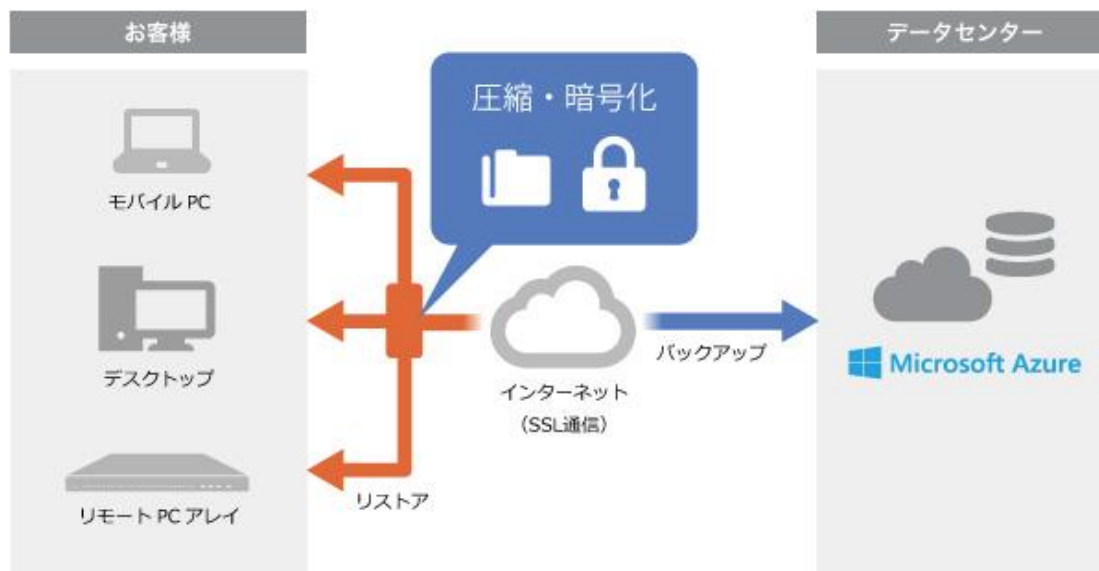
一元的なポリシー設定によりPCのデータを自動的にバックアップ及びユーザー自身でデータを復元できるクラウド型のデータバックアップサービスです。

※BaaS : Backup as a Serviceの略称

Resalio BaaS

Ascentech Data Cloud Backup as a Service

powered by 

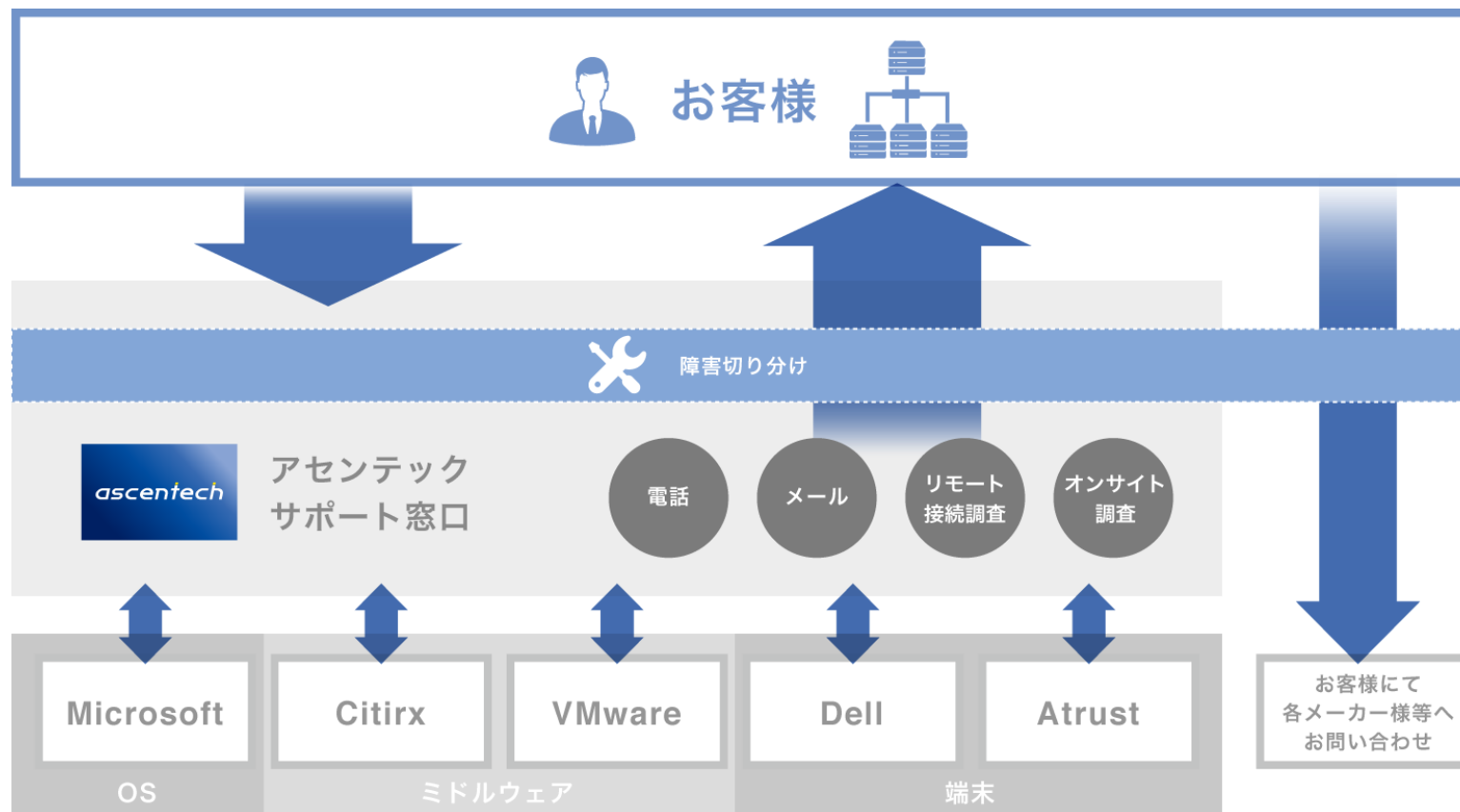


特 徴

- ・ **ランサムウェア対策**に効果的
- ・ **Windows10への移行**をスムーズに
- ・ Microsoft Azureを利用し、災害時も安心のバックアップ
- ・ PCの**バックアップを全自動化**
- ・ ユーザセルフでリストア運用が可能
- ・ 数十万ユーザに対応可能な、優れた拡張性

■ プレミアサポート

当社の強みであるVDIに関わるサポートサービスです。
サーバーOS、仮想化ソフトウェア、端末に至るまで、障害切り分けから
問題解決まで、総合的にサポートを提供します。



本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておりません。またこれを保証するものではありません。

The logo for Ascentech, featuring the word "ascentech" in a white, lowercase, sans-serif font. The letter "i" in "tech" has a small yellow dot above it. The text is centered within a dark blue rectangular background.

ascentech